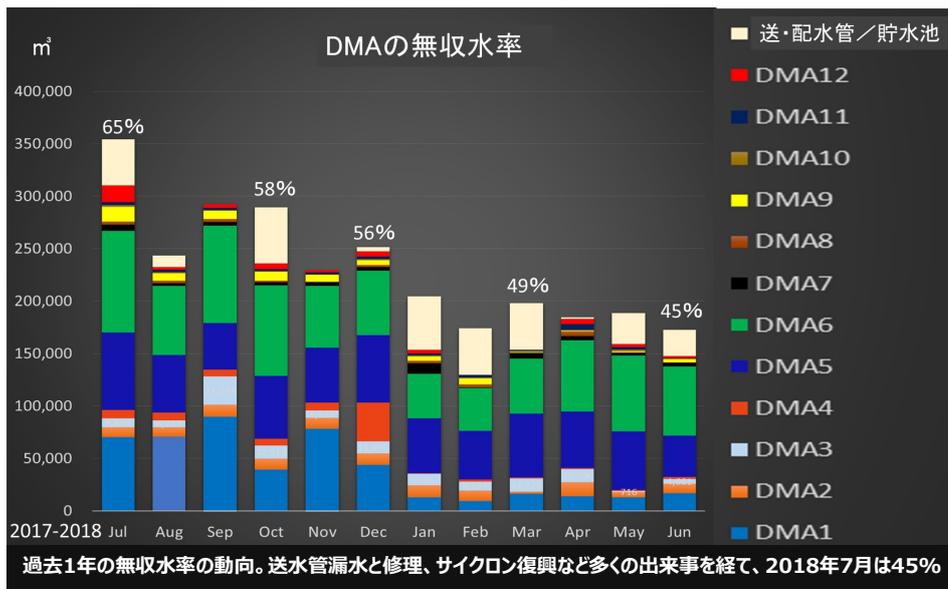




“旧管との戦いを制することができるか？”



「沖縄連携によるサモア水道公社維持管理能力強化プロジェクト」

サモアの水道事業は、サモア水道公社（SWA）により運営されており、全人口の約85%にあたる約16万人が給水サービスを受けています。水源は比較的豊富に存在するサモアですが、高い無収水率（60%以上）や雨季の濁水処理対応、水道料金徴収体制の未確立など、SWAは様々な課題を抱えています。これまで、沖縄県宮古島市による草の根技術協力事業「サモア水道事業運営（宮古島モデル）支援協力」や、沖縄県企業局が実施する課題別研修「大洋州島嶼における水資源管理・水道事業運営」への参加を通じ、SWA職員は基本的な漏水対策技術の習得と適切な浄水処理法の理解など一定の成果を得ることができましたが、SWA組織全体への知識・技術の普及は十分とは言えません。本プロジェクトでは、引き続き、沖縄県内の水道事業者による協力のもと、給水人口が最も多いアラオア給水区（約1.8万人）を対象に、適切な水圧管理や管路施工・漏水修理、漏水探知等による無収水対策、並びに水質管理体制の整備支援と浄水場の維持管理強化による水質の改善を図ります。また、各活動における内部研修を充実・強化し、SWA組織全体への技術浸透も図っていきます。

（1） 限定された予算での管路更新と、残る不安

40～50年前、水道施設が一番に整備されたであろう首都アピア中心の配水区画DMA5とDMA6*。この2区画の漏水削減なしに目標無収水率を達成することは難しく、DMA5とDMA6に焦点をあて対策を講じることはカウンターパートとも合意済みです。しかし、布設替えに割り当てられたSWA予算*には限りがあり、2018年度には一部*しか工事ができない現実が立ち塞がりました。また、新管を布設すると今度は旧管からの漏水が容易に予想され、果たして無収水率の削減につながるのか不安が残ります。また、未把握のループする配管が眠っている可能性もぬぐい切れません。配水計量誤差を無くすための旧メーター交換は、商業用で144栓のうち87栓、家庭用で1296栓のうち65栓を終了。家庭用メーターは現在、ニュージーランドからの納品待ちで、到着次第、取替作業が急ぎ行われます。また、バエア貯水池からDMA5/DMA6に送水される配水管の布設替えも基本計画は終了、12月までには工事を完了する予定で、送配水管の漏水率の減少も期待されます。プロジェクト目標である適正水圧、水質管理、そしてSWA職員の技術を担保する「標準作業手順書(SOP)」の日常活用は現時点でほぼ達成されていますが、依然として無収水率削減の壁は厚く、漏水量が多い地区を中心に、できる範囲で漏水修理を徹底していくしかありません。

*DMA5とDMA6は、上記の表の群青と緑の部分を指している
 ※SWA予算の資本的支出（管路布設など）はEU財政支援の政府予算で補てんされ、水分野協議委員会の承認の上配分される
 ※一部の工事は、DMA5内のバエア・ストリートとイフィフィ・ストリート。いずれもアスベスト旧管

特集

- ・ トピックス
- ・ 最新情報（人・イベント）
- ・ 専門家活動現場レポート
- ・ コラム

(2) 第6回JCC (合同調整委員会) 開催

去る8月1日(水)に、第6回合同調整委員会がSWA本部で開催され、ジェイミー総裁の代形でサバイ課イラサ課長が議長を務めました。イラサ課長は2017年に3か月ほど市街課長の経験があり、当時と比較して成果が促進されていることを確認しました。議題の焦点となった、無収水率35%に向けた活動進捗確認では、①家庭用メーターの交換が遅れていること、②2018年度に計画された旧管の布設替えが少なく、想定された漏水削減率到達は厳しいことを服部専門家が提示。それに対しSWA側は、市街課への予算増額の再考を約束し、無収水率35%は変更しないことを明言しました。加えて、議長は夜間の漏水探知、漏水修理など、職員たちの成果を褒めつつ、35%目標達成のためにさらなる努力を要請しました。CEPSOの活動が進むごとに、JCCへの参加者も多くなっています。現場を担当する職員が上層部に報告する機会、また、管理者が現場の実情を把握する機会としても、JCCはうまく機能し、当事者としての意識も高まっています。プロジェクト終了に向けて、アピア中心部の漏水削減に丸となって取り組むことを、出席者全員で確認・合意しました。



JCCはもはや幹部だけの会議ではない。背後には多くの職員が出席。現状を報告し、上層部の決定を見守る

CEPSO プロジェクト概要

(Capacity Enhancement Project for Samoa Water Authority in cooperation with Okinawa)

【実施期間】

2014年8月14日～2019年8月13日

【プロジェクト対象地区】

アラオア給水区 (約2,500世帯1.8万人)

【プロジェクト目標】

アラオア給水区に安全な水が安定的に供給される

【成果】

1. 管路施工・漏水修理能力強化
2. 配水管理能力強化
3. 漏水探知能力強化
4. 水質管理体制強化
5. 浄水場運転改善能力強化

【実施体制】

日本側／沖縄県内水道事業者及び関係機関

サモア側／サモア水道公社 (SWA)

【長期派遣専門家】

チーフアドバイザー1名
プロジェクト調整員1名

【短期派遣専門家】

各分野の専門性を有する沖縄県内の水道事業者及び関係機関からの派遣

今後の活動計画

【専門家派遣】

無収水対策 (2018年7月初旬～9月末)
総括支援 (2018年7月下旬～10月下旬)
漏水探知 (2018年8月上旬～9月中旬)
配水管理 (2018年9下～10月下旬)

【供与機材】

機材／電磁流量計、減圧弁ほか
納品／2018年8月 (予定)

第6回JCCでの主な協議・合意内容 (発言者)	補足等
プロジェクトで作成された標準作業手順書 (SOP) は、2017年改訂版もSWA内部で承認完了 (岸本チーフアドバイザー)	今後、SWA他部署への研修時にも活用する (議長)
アピア中心地区の管路更新は、2本は決定しているが、さらに予算を配分して、追加更新を検討する (議長)	DMA 5とDMA 6地区に絞った更新となる
アラオア浄水場へのベルト・コンベアーの投入は行わない。現行のマnpowerでの施設整備で問題はない (セバスチャン職員)	ベルト・コンベアーの規格やデザインが決定できず
調達班で注文する工具や資材が、現在使用するものと規格が合致しておらず、工具の破損や不完全な作業を招いている。市街課維持管理班と調達班の密な調整が必要 (セバスチャン職員)	地方課やサバイ課にも通じる問題。内部調整を行う (議長)
家庭用メーター交換が未だ1,200メーター以上残っている。交換完了をいつの予定で考えているか? (服部専門家)	必要であれば、作業職員を増員し、12月までには終了させる (市街課長)
短期専門家活動時の内部研修や、関係部署が主導する研修は引き続き、人材育成班が視察し、次年度の研修計画に入れ込む	2019年4月頃に、SWA年間研修計画を作成

(2) 第5回カウンターパート研修報告

市街課、工務課、営業課からの職員が参加した最終カウンターパート研修は、2018年6月25日～7月6日にかけて、沖縄に上陸した7号台風にも負けず実施されました。実施団体の沖縄Blue Water、受入事業体の那覇市上下水道局、沖縄市水道局、南部水道企業団、そしてJICA沖縄の皆さま、ご協力をありがとうございました。

① 研修員コメント



セミ 市街課 無収水対策エンジニア

素晴らしい研修でした。サモアの実践に活かすように努力します。監視制御システムもサモアに導入予定のため、たいへん勉強になりました。いずれの講義も学ぶところが多く、受け入れてくださった事業体の皆さまに心より感謝申し上げます。



ミシアファ 工務課 GISデータ管理テクニシャン

実りのある研修に参加でき、機会を与えて頂いた皆さまに感謝します。日本の資産管理のレベルに達するには、単なる技術だけではなく、多くのことをサモアは学ばなければならないと感じました。サモアでできることを形にしていきたいと思います。お寿司もビールも最高。



ラスロ 市街課 漏水探知テクニシャン

日本はサモアとは全く違いました。漏水探知にもいくつもの機材を併用して正確な探知を行っています。私たちがひとつずつの探知器を使いこなしながら技術の向上に励みます。南部さんで頂いた沖縄おでんもとても美味しかったです。ご馳走さまでした。



サー 経理課 顧客データ管理テクニシャン

皆さんのメリハリのある業務姿勢に驚きました。仕事への集中力を私たちは見習わなければなりません。日本はとても清潔で安全な国ですね。子供たちの登下校の様子もサモアとは大違いです。皆さまに良くして頂き、本当にありがとうございました。



① 研修受入機関コメント

那覇市上下水道局（分野：資産管理）

6/26は料金サービス課が担当し、給水装置工事申請から給水開始までの流れについて、また水道開栓からの業務フローについて講義を行いました。水道メータの検定満期で取替を行う重要性について、以前は壊れるまで使用していたが、現在は十分に理解しており、5年で取替を行っているとのこと。今回の研修では実際に現場での検針業務を体験し、ハンディーターミナルの使い方を習得しました。また、特殊鍵で開閉栓の模擬を行った際には、興味深く見学をしていたのが印象的でした。ハンディーターミナルを使用して検針を行うことで、誤検針や誤入力が軽減されることや、異常水量の発見等が容易になり、業務の効率化が図れるということを理解できたと思います。

6/27は配水管理課が担当し、那覇市のマッピングシステムの活用方法を中心にディスカッション形式で行いました。SWAでは料金システム（Daffron）とGIS（MapInfo）の一元化に向けて取り組んでいる中で、情報の一元管理の重要性を理解できたと思います。過去の漏水及び修繕情報等の履歴を登録することで、布設替工事の計画や適切な修繕工事にもつながる。SWAの現状の課題や今後取り組むべき内容も双方で確認することもできました。SWAに適した維持管理法については、難しい内容もあったかもしれませんが、研修員からは積極的な質問も多くあり、プロジェクトに対するやる気が伺えました。

無収水削減に向け情報の共有や他課との連携を大事にし、目標達成ができるよう、今後も那覇市と支援していきます。（大濱専門家）



沖縄市水道局（分野：無収水削減）

2014年のプロジェクト開始以来5回目となるカウンターパート研修を受け、沖縄市水道局では、水道事業における収入の根幹であるメーター検針から料金算定、配水ブロックや資産管理など多岐にわたる分野から収集されたデータを基に、関係部所間の緊密な連携の下細かな配水分析を行っていくことが無収削減への近道であると相互に確認することができました。

研修員からもCEPSOのプロジェクトが始まったことにより、以前は無かった関係部所間のミーティングやデータ融通などSWAの中でも確実に変化が起き、収水率も改善傾向が見られるとの言葉を聞き、本プロジェクトに関わらせて頂いた事を嬉しく思いました。残り少ない活動期間ですが、最終目標達成まで、互いに協力していく事を確認する機会となりました。（田場努専門家）



南部水道企業団（分野：漏水調査）

今回のカウンターパート研修で予定していた現場での実習は、台風7号の影響による雨ですべて中止となり大変残念ではありましたが、企業団庁舎内での漏水調査機器操作説明、南部水道企業団 摩文仁浄水場、米須地下ダム、慶座地下ダムの視察は行うことができました。今回の研修で中止となった実習は、南部水道企業団から8月にサモア派遣予定ですので、プロジェクトの現場で行います。どうぞ宜しくお願いします。研修員の皆さん、雨の中お疲れ様でした。（謝花専門家）



～アピアの街角から vol.7～

アラオア給水区の水事情に迫るコーナー。今回は、漏水調査の職員に同行して、住民の方に話を伺いました。住む地区、地域によって水の出や質に大きな差があるのか、水道水に関するサービスの状況をお伝えします。



名前：ウィリエ・シンクレア
年齢：43歳
職業：ランドリー併設の雑貨店主
住まい：ファティア地区
同居：5人（妻、息子1人、娘2人）

祖父がこの地に移り住んだ時は、まだジャングルのようなところで、住民は少なかったらしい。今は、とても賑やかになったねえ。
アピア市内の人口は増加中。

－給水サービスが良くなったと実感したのはいつ頃ですか？

「7年前くらいだと思う。それ以前から水道管は引かれていたけど、雨が降ると濁水が蛇口から出てくるのが常でした。SWAのサービスには満足しています。子供が安心して水道水を飲めるのが何より。」

－月額どのくらいの水道料金を支払っていますか？

「ランドリー・ビジネスを含めて月に400タラ程度（18,000円）。月によって変動があるから家庭内漏水を疑っている*。」

－SWAに何かリクエストはありますか？

「現在、住まいとランドリー・ビジネスが一緒のメーターで計量され、商業施設として登録されているけれど、できれば、住まいはメーターを別にして家庭用料金で請求してほしい」

確かに正しくは分けて請求を行うべきですね。今後のサービス向上の課題です。

*同行した専門家がすぐにメーターを確認。漏水はありませんでした

*サモアの水道料金体系：商業用は40㎡以上；2タラ/㎡（90円）、一般家庭用は、0～15㎡；0.5タラ/㎡（23円）、15～40㎡；1.4タラ（63円）

最新情報（人・イベント）

（1）地球環境部水資源グループ課長と、プロジェクト担当の交替

岩瀬 誠さん、新模 理沙さん

2018年5月～6月に、本プロジェクトの担当が、田村課長から岩瀬 誠（いわせ・まこと）課長に、担当者が中島職員から新模 理沙（あらまき・りさ）職員に交替しました。田村課長、中島さん、今後のプロジェクト動向を見守ってください。岩瀬課長、新模さん！最終年度、さらに気合いを入れて参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

（2）無収水対策専門家 服部 聡之さん

2018年7月6日から、服部 聡之（はっとり・としゆき）さんが、第3次現地派遣の活動中です。無収水率35%達成のために、タスクフォースの強化支援と、活動モニタリングとアクションプランの実施支援を行っています。日々、正確な漏水量を把握するため、SWA職員と奮闘中。今回は、9月28日まで活動を行います。

（3）総括支援専門家 高良 求さん

昨年度に引き続き、高良 求（たから・もとむ）さんが、プロジェクト全体の実施・運営状況に係る助言および短期専門家の活動支援を目的に、2018年7月30日から活動中です。8/1のJCC（SWAとの合同調整委員会）にも出席。10月26日まで漏水探知と配水量分析の活動促進をサポートします。

（4）漏水探知専門家 謝花 朝規さん



2018年8月12日から5週間、南部水道企業団の謝花 朝規（じゃはな・ともりの）さんが漏水探知指導で再びサモアに帰ってきます。業務内容は、配水管の漏水調査と内部研修の実施支援、そして職員離職時の引継ぎ体制強化です。「サモアへの派遣は2年連続、3回目の派遣となります。無収水率35%の目標達成に向けて、SWAの力になれるように頑張ります。」と謝花さん。さらなる技術指導をよろしく願います。

（5）沖縄 Blue Water



2018年度のカウンターパート研修の実施団体である「NPO沖縄Blue Water」、代表の矢野 誠（やの・まこと）さんを紹介いたします。

「縁あってJICA研修受託機関の仕事をしている中で、中本先生の生物浄化法（Ecological Purification System）を知り、なんと素晴らしい技術ではないか！と感銘を受けました。その後、EPS実習の副講師も担当し、もっと積極的にEPSを広めるため、そして沖縄における水関連の研修をスムーズに行える組織を立ち上げようと、中本先生と水道関係者の方々の賛同・協力もいただきまして、今年5月に設立しました。

この記事をご覧の人は周知の事かもしれませんが、EPSを端的に説明しますと、仕組みと考え方をきちんと理解すれば、自分自身で比較的安価に装置作成が可能であり、薬品を使わず、安全でおいしい水が確保できるようになる技術です。

これからは、EPSを世に広める一環として、都市部に住む、上水道の恩恵にあずかれない地域住民を対象に、SDGsのゴール6の達成を目指し、草の根展開も計画・提案していきたいと考えております。」

CEPSO専門家数名も会員となっています。共に 途上国に適した水道技術を広めていきましょう！

サモア'sTyLe

「サモアのお土産いろいろ」

南の島からのお土産は何がいいの？
出張者のお土産動向に個人的な好みを入れて、ご紹介しましょう。

- 1. ココナツ石鹸**
肌に優しくマイルド
香りが良いレモングラス
皮膚に良いファタウ入りなど種類も豊富

- 2. ココナツ・ジャム**
無添加・無糖
ヨーグルトに入れてもGOOD！

- 3. ココナツ・オイル**
食用・髪用・肌用
どれも中味は同じ。
高純度のオイルです

- 4. サモア産チョコレート**
カカオ75%、ミルク、フルーツナッツ
工場で購入すると試食と割引あり

- 5. サモア柄シャツ**
ビッグサイズも揃っています

- 6. ショウガ・リキュール**
柑橘ジュースと氷でどうぞ！
コーヒリキュールもあります
いろいろ揃ってます！！


名護市環境水道部

大城 隼人

*名護市管工事協同組合派遣

渡慶次 一真

担当分野：管路施工・漏水修理

【期待される成果】

1. 管路施工・漏水修理技術・知識の向上
2. 職員能力評価と職員研修実施

【主な活動内容】

- 給水分水栓の作業状況確認及び技術指導
- 管路施工現場による技術指導と助言
- 工具管理と実践
- 写真を使った施工履歴管理
- 内部研修・技能テストの実施支援と監督



テクニシャンの技術は十分に高い。後は現場で正しい手順で施工と修理を行い、写真管理で報告を！ 整理・整頓・清掃も、毎朝10分、行いましょう。

大城専門家 現場最前線レポート

名護市環境水道部の大城 隼人（おおしろ・はやと）さん、名護市管工事協同組合からの派遣で渡慶次 一真（とけし・かずま）さんが2018年6月11日から7月13日にかけて、管路施工・漏水修理分野で現地指導を行いました。無収水率35%達成のために効率的な作業、確実な施工が、維持管理班の課題となっており、工具の具体的な管理方法と写真による施工状況の確認方法を実施し、提案しました。この活動に不可欠なカメラを3台、名護市環境水道部有志の皆さまのカンパにて購入頂きました。市街課一同とともに、厚く御礼申し上げます。

【作業状況確認】現場で作業を行うテクニシャンは、顧客からの漏水苦情を多く抱え作業にあたるためか、手抜き作業が今でも散見された。漏水箇所を掘ってみると、不完全な融着によるソケットへの木根巻き付きを発見。サドルからの漏水も多く、穿孔刃が不適正もしくは、穿孔技術が未熟が原因であることは明らか。これらの課題をもとに、内部研修の実施、工具管理と写真による施工監理の提案とその指導を行った。

【工具管理】維持管理班では3チームが編成されており、チームごとの工具数に大差がある。「同じように支給したはずが、」と幹部は頭を抱える。工具や資材を管理している場所も車中や浄水場の片隅などチームで様々。専門家は、まず工具を一括管理することを提案。チームごとに工具に色づけをして、チーム同士の競争と紛失を防ぐ効果を狙った。同時に、荷台に放置されたゴミの破棄、次に工具、修理資材を区分け、専門家とともに完璧な状態を写真で記録した。この写真はラミネートし、清掃を促す標語とともに壁に張り出している。毎朝10分の清掃時間も提言した。

【写真による施工監理】「テクニシャンの手抜きをいかに防ぐか」。これが代々の専門家の悩みの種であった。維持管理班を束ねるエンジニアが目を光らせないと施工修理の質の向上はない。さらに施工・修理履歴の蓄積にも写真データを残すことは有効で、資産管理班との情報共有にも役立つ。そこで、1件のサービスオーダーに対し、6枚程度の写真記録を残すことを提案し、指導した。一週間かけてテクニシャンたちがとった現場写真には、他課と共有すべき問題提起のショットも含まれていた。現場の実体を上層部に報告、上層部は実体に沿った解決策を提示するなど、SWA内の「ホウレンソウ（報告、連絡、相談）」に活かしてほしい。

【内部研修の実施】研修やテストの準備・実施はすべて維持管理班の職員で行われ、エンジニアの指導とチームごとに施工・修理技術や知識が得られていることが確認された。人材班職員も視察を行い、研修の重要性を理解した。今後、SWA研修の年間計画に組み込まれる予定。



現場での改善ポイント確認



毎週、専門家の提案と活動進捗を説明



良い穿孔は経験あるのみ



工具管理：緑に色付け。セキ（完了）

コラム1 “サモア活動報告”

沖縄県企業局 伊佐 智明

2018年2月9日夜、サイクロン来襲直前のアピア空港出口

サイクロンがサモアに近づいていることも知らず空の旅を楽しみ、後は空港から出るだけだったはずの伊佐に最初の試練が訪れました。水質検査のための採水容器でいっぱいのコOLERボックスが空港職員の目にとまり、「何の目的で持ち込むんだ」というようなことを言われ、まさか採水容器のことで尋問されるとは想定外のことに頭が真っ白になりました。この試練を救ってくれたのは、迎えに来ていた田中さんでした。「サモアの水道水を検査するためだから入国させなさいよ」という田中さんのタンカのおかげで、伊佐も採水容器も無事に入国できました。

同年2月11日未明、ホテルミレニア

サイクロンの影響で前日から暴風と停電に見舞われたが台風で慣れているため全く気にならず眠っていると、足下が冷たい。びっくりして起きると、まさかの雨漏り。立派なホテルのはずなのにと思いながら、とりあえずベッドの上に鍋を置いて、まだ無事な隣のベッドで再び熟睡。

その後は、いくら雨が降っても雨漏りはなかったことから、この日のサイクロンが連れてきた雨がどれくらい強烈だったかわかるといいます。

前置きが長くなりました。やっと仕事の話・・・

サモアでの業務目的は、①沖縄で水質分析するための原水と水道水の採取、②水質チームの試験技能チェック、③アラオア浄水場運転管理員の試験技能チェック、④アラオア浄水場給水区の残留塩素管理方法、についてです。

基本的に、前任の垣花、福原が種をまいて水をかけて咲かせた花を、鑑賞する業務でした（前任に感謝です）。

特に、水質チームの水質検査の知識と技能はしっかりしていて、前任が指導したことを確実にこなしていたことが確認できました。

アラオア浄水場運転管理員は、当初、検査技術が低下している点が見られましたが、検査方法の再指導することで残留塩素測定技術が高くなりました。今後もこの技量を維持するためには、パトリックにかかっていると思います（パトリック任せだよ）。

問題なのは、アラオア浄水場給水区の残留塩素管理方法でした。サモアの残留塩素の基準（0.2～0.5mg/L）が、浄水場出口から給水末端にかかっており、これを運用することはかなり難しいことを、簡単な図を使って伝えることができました。解決するためには、水質基準を決めている機関との粘り強い交渉が必要になります。

残留塩素の不安定なことを除けばサモアの水道水質はかなり良質なので、残留塩素の管理がしやすい状況になり、より安全な水道水が給水できるようになることを期待しています。

ティモシーが・・・

任務期間がもうすぐ終わろうとしていた時に、カウンターパートのティモシーが突然異動してしまいました。SWA本部で水質業務の最終報告はティモシーにしてもらいましたが、上手に説明し、参加者に問題点等を理解させた様子を見て、優秀な人はいつでも引っ張られるのだと納得させられました。

いろいろな経験をさせてもらったサモアに感謝します。もうすぐサモアにも水質が最優先になる時代がやってくるので、それまで頑張り！水質チーム！



ティモシーとの採水作業。直後、異動があらうとは、。。



【ティモシーの後任のパフティーからのお知らせ】

先般ようやく、「サモア飲料水質基準（2008年版）」が改訂されました。嬉しいニュースと厳しいニュースがあります。

嬉しいニュースは、残留塩素の基準が0.2～1.0 mg/L となりました。そのため、浄水場での残留塩素管理も容易になり、懸念されていた安全な水の供給は、担保されるようになります。

次に、厳しいニュースです。旧基準書では有機物と農薬（Organic parameters & pesticides）が5年ごと、無機物（Inorganic parameters）が3年ごとの検査になっていましたが、改訂版では「毎年実施」となりました。サモア国内で検査できる項目は限られており、海外に検査を発注することも、今のSWAでは厳しいです。次の基準書改訂まで5年～10年を要するでしょうが、サモアの現状に合った基準書となるように、声を挙げていかなければならないと思っています。

コラム 2 ～サモアでの活動を終えて～

名護市環境水道部水道施設課 大城 隼人

主な活動内容は、配管・漏水修理の現場状況を確認し、それをもとに研修プログラムを作成し、SWA職員自ら研修が行えるよう支援するというものでした。計画目標としての、穿孔や融着研修のデモンストレーションや写真管理・道具管理等を指導するにあたり、SWA職員にとって簡単かつシンプルで、サモアの実情にあった提案が出来るように心がけました。

異国の地での常識の違いや言葉の壁はあったものの温かく受け入れられ、水道技術を通して心が通じ合えた気がしました。

最後にこのような機会を与えて頂いた関係者の皆様とサモアでお世話になった多くの人々への感謝の気持ちを伝えたいと思います。 Faafetai lava Samoa

名護市管工事業協同組合 渡慶次 一真

今回、サモアへの派遣が決まり、どんな街なんだろうと思っていましたが、いざ到着し街に出てみると、スーパーには米に醤油、豆腐やわさびまであるのには驚きました。

物にあふれるアピアの街は生活するには、問題はないと感じましたが、ほとんどの店が夕方になると閉店し、日曜日は1日休業になるのが少し残念。

野菜市場ではタロ芋やココナッツなど、魚市場では海産物が安く販売されていて、鰹と伊勢エビを購入し、刺身と伊勢エビの味噌汁を料理をして、食べた時のおいしさは忘れられません。

また、SWAの職員や街の人々は気軽に話しかけてくれ、拙い英語と身振り手振りで話す自分に、サモアの人々は分かりやすく伝えてくれ、とても優しくフレンドリーだと感じました。

仕事は、1チーム2～3人で漏水修理を行い、上手いかない場合は工夫をして最後までやり抜く粘り強さと、日本人には無いパワーを感じました。しかし、道具や工具不足は否めず、掘削や施工での時間がかなり浪費され、また配管施工の工程省略も見られ、内部研修では施工手順、そして道具管理の大事さを指導しました。

今回の改善点を継続していけば、無収水率も下がり住民の皆さんにも、安全で安心した水を供給することが今後できると思います。

5週間でしたが、CEPSOやSWAの皆さまのおかげで無事に終えたこと、そして貴重な経験が出来たことを心より感謝いたします。 (Fa'a f e t a i l a v a)



城間隊員のお出迎え “めんそーれ サモア”



サモア・ラグビー観戦 Manu Samoa!



送別会の準備をしてくれて、ありがとう ♡

次号掲載予定

- ・トピックス
- ・プロジェクト活動進捗
- ・コラム

お問い合わせ先

本プロジェクトに関するご意見、ご質問、ご感想等がありましたら、以下のメールアドレスまで送付ください。

CEPSOプロジェクトデスク
SWA本部(TATTE Building)
& ヴァイテレ事務所内
アピア、サモア

連絡先：

✉ : cepsopj@gmail.com

☎ : (+685) 770.2440

担当：田中(プロジェクト調整員)

Newsletter

Vol.16

【編集後記】名護市さんの活動で「5S運動だ！」と言われたときは、それはちょっと無理よ、と思った私がいまいた。ごめんなさい!! 工具管理と清掃活動の提案は、市街課長のやる気スイッチを入れ、アツという間に工具保管室を作りました。以前はごみ溜めのような空間が、写真のように生まれ変わりました。素晴らしい! 作業チームごとにロッカーを持ち管理します。これで、現場作業に出発する際の効率も上がりますね、万歳! (たなか)



LE SUAVAI